

公共工事等における新技術活用システム  
事後評価結果通知書

国部整施企第117号  
令和4年1月27日

株式会社高洋商会 殿

国土交通省  
中部地方整備局長 堀田 治  
(公印省略)

新技術活用評価会議における評価の結果を様式V-5のとおり通知します。なお、評価結果についてはNETISに掲載します。

記

1. 技術名称：自由設計可能な透明型枠「透(クリアー)フォーム」
2. NETIS登録番号：KK-190028-A
3. 評価結果：様式V-5のとおり
4. 継続調査等の必要性について：継続調査等を必要としない
5. その他：この結果に基づき、当該技術のNETIS登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更され、掲載期限が当初にNETIS登録した翌年度の4月1日から起算して10年を経過した日まで延長されます。  
また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して10日以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行うことができます。

(提出先)

国土交通省中部地方整備局  
新技術活用評価会議事務局

# 活用効果評価結果

公開版

令和3年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標	耐久性の向上、品質の向上																																																																					
	新技術登録番号	KK-190028-VE	区分	製品	有用な技術の位置づけ	なし																																																																	
	分類	コンクリート工 - コンクリート工 - 型枠工 - 一般型枠工																																																																					
	新技術名	自由設計可能な透明型枠「透(クリア)フォーム」																																																																					
	比較する従来技術(従来工法)	木製型枠																																																																					
	新技術の概要及び特徴	本技術は、R部やハンチ等、複雑な形状に対応するコンクリート型枠を透明アクリルに変えた型枠の技術であり、従来は木製型枠であった。本技術の活用により、コンクリートの品質向上、施工性の向上が期待できる。																																																																					
活用効果評価	所見	【優れていた所】 透明型枠のためコンクリートの打設状況が目視確認できることからコンクリートの打設管理が容易となり品質の向上が図られる。																																																																					
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。 よって、情報種別記号「-VE」とする。																																																																					
	留意事項	・該当なし																																																																					
	活用効果調査表における改良点及び要望	・該当なし																																																																					
活用効果調査結果	対象工事	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>跨道橋下部工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>橋梁下部工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>用水路工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>道路改良工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>橋梁下部工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>6</td><td>橋梁下部工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>砂防堰堤工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(契約後提案)</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>樋管新設工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(総合評価技術提案)</td> </tr> <tr> <td>9</td><td>用水路工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(総合評価技術提案)</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>棧橋上部工事</td><td>(従来技術</td><td>木製型枠</td><td>)</td><td>施工者選定型(総合評価技術提案)</td> </tr> </table>										1	跨道橋下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	2	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	3	用水路工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	4	道路改良工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	5	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	6	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	7	砂防堰堤工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)	8	樋管新設工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)	9	用水路工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)	10	棧橋上部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)
		1	跨道橋下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		2	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		3	用水路工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		4	道路改良工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		5	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		6	橋梁下部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		7	砂防堰堤工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(契約後提案)																																																																
		8	樋管新設工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)																																																																
		9	用水路工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)																																																																
10	棧橋上部工事	(従来技術	木製型枠	)	施工者選定型(総合評価技術提案)																																																																		
活用効果調査結果	項目	ケース番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)																																																									
		項目	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2	R2																																																											
		施工時評価	経済性	D	D	D	D	C	D	D	D	C	D	D	C																																																								
			工程	C	C	C	C	C	C	-	C	C	-	C	C																																																								
			品質・出来形	A	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	C																																																								
			安全性	-	C	C	C	-	B	B	C	-	-	C	C																																																								
			施工性	D	D	B	B	B	C	-	B	C	B	C	C																																																								
			環境	B	C	B	C	-	C	-	B	-	-	C	C																																																								
		その他																																																																					
		総合評価点	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C																																																										
今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか	今後是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	各項目における判定																																																																		
	50%	30%	20%	0%	A	従来技術より極めて優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る																																																											
追跡調査の必要性	不要																																																																						
追跡調査	-																																																																						

